

1 令和6年度の成果と課題

(1) 成果

- ・児童の活動を価値付ける声掛けをすることで、様々なことを試し、納得いくまで取り組む児童が増えた。
- ・ICT機器を活用することで、視覚的に分かりやすく指導することができたり、児童が意欲的に取り組むことができたりした。

(2) 課題

- ・児童は意欲的に取り組んでいるが、発想の広がりや作品の完成度を伸ばし、最後まで粘り強く取り組む力を育てる必要がある。

2 調査結果に基づいた授業改善のポイント及び改善策

1 道具の使い方など、技能の習得を目指す。

全:①道具の基本的な使い方を、ICTを取り入れながら視覚的に分かりやすく指導する。また、表したいことに合わせ、材料や用具を選べるようにする。

②安全について、用具の正しい使い方を毎時間確認し、必要に応じて使えるようにする。

2 発想・構想の能力を高める。

全:題材内容や材料との出会い方(導入)を工夫する。制作手順や資料、参考作品などを提示し、活動の見通しや様々な見方・考え方をもてるようにする。

低:様々な素材に触れる経験を増やし、表現方法の幅を広げさせる。

中:自分のイメージや思いを広げられるような技法や資料の提示を行う。児童の発言やアイデアを共有できるようにする。

高:自分のイメージや思いを広げ、深められるような技法や資料の提示を行う。ワークシートを活用し、表したいことをどのように実現できるか考えさせ、制作の見通しをもたせる。

3 作品を最後まで完成させる粘り強い力を身に付ける。

全:①児童の考えを肯定的に受け止め、試行錯誤している様子や作品の工夫などを他の児童にも共有し、主体的に活動ができるようにする。また、作品の完成した姿を見据え、目標をもって表現活動ができるようにする。

②児童の実態や興味・関心に合わせた題材を設定し、作品の完成度を高める。

③本題材が何時間の内容で、本時が何時間目かを提示し、児童が見通しをもって制作できるようにする。